

ふるさと奈良への便り



医師・気仙沼市立
本吉病院院長

川島 実さん
山形県在住
奈良市出身

「Uターンラッシュ」

救急医療を目指し関西を離れて8年。東日本大震災のあと、縁あって気仙沼で働く今も、年に何度かは奈良に帰省しています。

昨年末からこの年始にかけ奈良で過ごした帰り道、乗降客でごった返す京都駅でのこと。雑誌を満載した台車を、係員が押してゆき、乗車案内を見上げている男性に接触しました。男性は体勢を崩し、同時に雑誌の束は床に崩れ落ちます。

係員が「すみません!」と言いながら荷物を拾い始めると、ぶつかった男性も手伝い始め、あれ?と思う間に右を通っていた男性も左から来た男性も作業に加わり、間もなく雑誌の山は元通りになり、台車は売店へ、乗客はホームや改札に散って行きました。

今回、東京まで新幹線の自由席で立って戻らねばな

らないのを苦々しく思っていたのですが、この出来事のおかげで穏やかな気持ちで乗ることができました。おまけに座れてラッキー♪ 日本っていい所だな。

イチロー・カワチ(研究者)という偉い人がいて、日本人が長寿な理由は「社会関係資本」にあるという。この目に見えない地域の財産は「絆」とか、向こう三軒両隣とか、困った時はお互い様とか、人と人の繋がりを指すという。なるほど・と思った帰り道。

県外で働く私にとって奈良はまさに「故郷」です。目に見える奈良と、目に見えない奈良がいつまでも温かい故郷であることを願って止みません。

平成26年、仕事始めの前日に。みちのくより。

人権コーナー

毎月11日は
「人権を確かめあう日」

豊かな笑いの文化のために

電車の中で4~5人の高校生が、少しにぎやかに雑談していた。互いに冗談を言い合っているらしく、しばしば笑い声が上がった。ところが、その中に一人だけ、確かに話の輪の中にいるのだが、じっとつむんでいる生徒がいた。

彼は周りの生徒から「お前、ノリが悪いなあ」とからかわれていたが、話の内容は、どうやら昨日のテレビのバラエティー番組についてのようだった。聞こえてきた限りでは、生活困窮者を笑いの対象にした内容のようで、つむんでいる彼にとっては、全く面白くはなかったのだろう。

笑いは心の潤滑剤とも言われ、人間にとってとても大切なものだ。そして、関西は昔からお笑いの文化が豊かで、日常会話の中でも「笑い、笑わせる」ことが人間関係のアクセントとなっていること

が、しばしば見られる。

しかし、その笑いの内容が、人をからかったり、さげすんだりしたものであるとすれば、どうだろうか。笑いによって人と人の間に壁をつくるのではなく、豊かな人のつながりとなる「笑いの文化」を創造したいものだ。

【今月の標語】

◆ 考えよう 言葉の重み めくもりを

県立西の京高1年 茶園 依奈さん

【今月のポスター】



吉野町立吉野北小3年
さかもと ゆりか
坂本 有理佳さん



大和高田市立片塩中2年
ななからげ ゆうな
七羽 由菜さん



ひかりちゃん

てんいち先生

テレビ&ラジオ



県政フラッシュ 毎日22:54~23:00
県政の出来事を毎日ニュースでお届けします。

県民だより奈良「なら いいね!」
2月8日(土) 21:00~21:30

奈良! そこが知りたい
「めざせ販路拡大 奈良の農産物を首都圏へ!」
2月15日(土) 21:00~21:30

せんとくん通信 「ゆうドキッ!」内の
毎週水曜日 18:30頃~約10分間
「奈良県インターネット放送局」で動画配信中

県政ほっとライン
FMハイホー(81.4MHz)
毎週月・水・金10:15~、火・木16:45~、土11:45~

県政HOTインフォメーション
ならどっとFM(78.4MHz)
毎週月・水・金11:15~、18:45~

問 県広報広聴課 TEL 0742-27-8326

担当職員が
県の事業を
わかりやすく
紹介!

クイズ&プレゼント



〇〇に当てはまる
文字を教えてください

ヒントは4ページ

奈良公園は、〇〇資源、
歴史・文化資源、公園資源が融合した
世界に誇れる公園です。

ハガキに答えと、住所、氏名、年齢、電話番号、「県民だより奈良」の感想(良かったコーナー・取りあげてほしい話題・改善点)などを記入して、〒630-8501(住所記入不要) 奈良県広報広聴課へ。ホームページ(www.pref.nara.jp/30222.htm)からも2/1以降、応募できます。

正解者の中から抽選で、鹿サイダー
(3本入り)を5名の方にプレゼント!

奈良県産の柿100%の柿酢を使った奈良県ご当地サイダー。
さわやかでちょっと懐かしい味です。

(奈良のうまいもの会提供 TEL 0742-35-3033)

※個人情報、プレゼント発送以外には利用いたしません。

締め切りは、2月28日(消印有効)



12月号の答えは「教育力」でした。 応募総数829件。